

緑豊かな環境を最大限室内に取り込んだ住まい

「風の駅」

ycf / 山下喜明建築設計事務所 山下喜明さん

雑木林の急斜面という立地だからこそその住まい

奈良市内の閑静な住宅地の一角、雑木林の斜面に建つ「風の駅」は、ycf / 山下喜明建築設計事務所の山下喜明さんの自邸。「最大斜度40もある斜面でしたが、ここにも家が建てられるんじゃないかと、試しに模型で作ってみました。この周辺の土地を共同で購入した人たちに、これが意外に好評で。結局は、自分で住むことにしました」と、談笑を交えながら、山下さんは当時を振り返ります。

この「風の駅」は、緑豊かな環境を最大限取り込めるよう、建物の外周には回廊が巡らされており、中心には、エントランスホールを兼ねた、風の通り道となるオープンエアリビング（半屋外居間）。その東側にリビング・ダイニング・キッチンが、西側には寝室と和室、浴室などの水まわりスペースが配置されています。

「和室は、わずか3畳のスペース。狭いように思うかもしれませんが、実際に室内に入ると十分に落ち着ける広さがあります。同程度の和室スペースを提案した施主の方に、ここにきて来てもらうこともありますが、『狭いのではないかと』言っていた方も、この和室をご覧になって、みなさん納得して帰られます」と、山下さんは語ります。



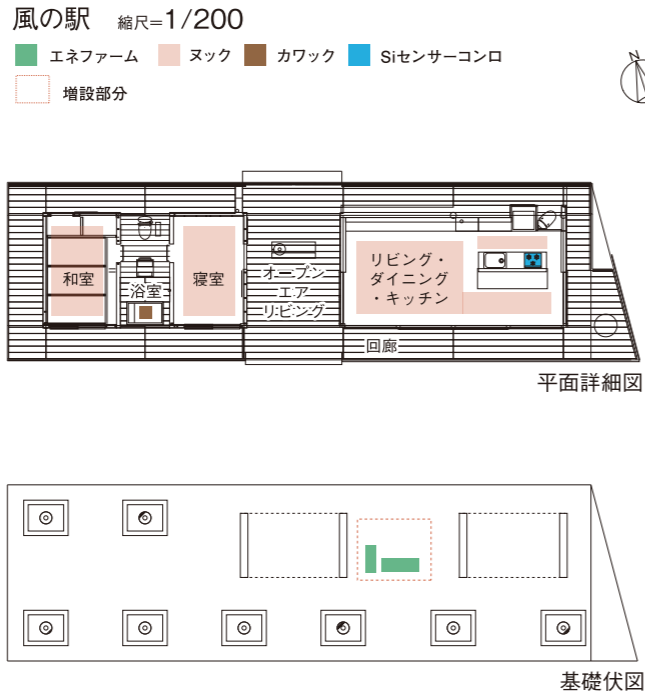
- 1 エントランスホールを兼ねたオープンエアリビング。夏にはここで過ごすことも多いのだとか。
- 2 雑木林に囲まれた「風の駅」。竣工後に植樹した樹木が成長し、風情のある景色となっています。
- 3 わずか3畳の和室スペース。のんびりとくつろぐことができる、落ち着いた空間になっています。

- 4 正面からみたオープンエアリビング。風の通り道になっているのだそう。
- 5 最新型のエネファームtype Sを基礎の下に設置。
- 6 パブリックスペースであるリビング・ダイニング・キッチン。山下さんご自身も楽器を演奏するほか、プロの音楽家を招いての演奏会なども不定期で開催されています。



建築家
やました よしあき
山下 喜明さん
1963年大阪生まれ。1988年大阪工業大学建築学科卒。1989年木村博昭/Ks Architects勤務。1994年大阪市内にて事務所設立。2006年奈良市に事務所移転。2008年東京ガス「住まいの環境デザインアワード」暮らしデザイン特別賞。2008年「暮らしのデザイン」特別賞。2011年「大阪ガス住宅設計アワード2010」佳作。2013年「大阪ガス住宅設計アワード2012」特別賞。他、受賞多数。

・連絡先: ycf / 山下喜明建築設計事務所
・住所: 奈良市元林院町40
・TEL: 0742-24-3600
・FAX: 0742-24-3600
・URL: http://www.yoshiaki-yamashita.com
・e-mail: info.y2cf@gmail.com



風の駅

- ・所在地 / 奈良県奈良市
- ・家族構成 / ご本人
- ・敷地面積 / 308.70㎡
- ・建築面積 / 67.90㎡
- ・延床面積 / 64.82㎡
- ・構造・規模 / 木造・平屋建
- ・設計期間 / 2003年10月～2004年7月
- ・施工期間 / 2004年7月～2005年2月
- ・2016年8月 (増設部分)

導入ガス設備・システム

- ・家庭用燃料電池コージェネレーションシステム エネファームtype S
- ・ガス温水床暖房 ヌック
- ・ガス温水浴室暖房乾燥機 カワック
- ・Siセンサー・コンロ

自邸での体験を活かした住まいの提案

四季折々の美しい風景を楽しむことができるこの住まいですが、「半屋外の回廊の周囲は、南側以外を大い格子で囲っています。これは防犯と通風、若干の目隠しの役割もありますから、夏はサッシを開け放して寝ることが多いですね。昼は木々が直射日光を遮りますし、夜は緑で冷やされた風が室内に入ってくるので、とても快適です」と語る山下さん。「冬はやはり冷え込みますが、この住まいでどれだけ温かく過ごせるのか、試してみたいと考えました。そこで、寝室や和室ではシングルガラスと障子の二重建具を採用。

寝る前にガス温水床暖房をしばらくつけておけば、二重建具の効果もあって、朝まで温かく眠れます」と話します。

11年目にあたる昨年、エネファームを設置した山下さん。「エネルギーについて問題意識もありましたし、自分自身で使ってみることで提案の際に説得力が出るのではないかと思います」と話します。

「家の中にもある家ではなく、意識が外に行くような設計、家の外(周囲)を意識した設計に力を入れていきたいですね」と語る力強い言葉から、この住まいでの充実した暮らしがうかがえます。

